

作法を学んで七五三

出雲大社福井分院 地元園児が参拝

子どもの健やかな成長を願う「七五三」の15日、福井市の社中央第一、第二こども園の園児計92人が同市の出雲大社福井分院を参拝した。園児らは参拝の作法

を体験しながら、家族らに感謝の気持ちをささげた。約40年間続いている伝統行事。園児たちは神前で、神主の合図や動きに合わせてかしわ手を打ったり、正

座のままで頭を下げたりした。太鼓や鈴、笛の音を響かせる巫女の舞が披露されると目を輝かせ、自分たちが作った紙袋でお守りやちとせあめを受け取ると笑顔を見せた。

吉田悠亜ちゃん(5)は「建物がきれい。太鼓の音とかを聞けて楽しかった」とにっこり。玉谷愛莉ちゃん(5)も「(家族に)ありがとって言いたい。習い事のスイミングをがんばりたい」と喜んだ。

(金崎千花)



神主からお守りやちとせあめを受け取る園児たち＝福井市の出雲大社福井分院で